

プロに聞く学芸員の仕事

講師 明尾圭造(大阪商業大学教授)

日時 4月2日(日) 講演13:00～ (1時間)

場所 大石可久也アート山美術館

※どなたでも参加できます(参加費は無料、要入館料[大人800円])

学芸員は、美術館や博物館に所属し、資料の収集、保管、展示及び調査研究を行う「博物館法」に定められた国家資格です。そんな学芸員の仕事の実際について、芦屋市立美術博物館学芸課長を経て、現在、大阪商業大学商業史博物館主席学芸員を務めておられる大阪商業大学公共学部教授の明尾圭造先生にお話いただきます。

ボランティアの手によって運営されているアート山美術館は、美術館や博物館の運営のプロの目にはどう映るのでしょうか、質疑応答の時間も設けていますので、あれこれお聞きしたいと思います。

明尾圭造(あけおけいぞう)

1961年 布施市(元東大阪市)生まれ。

関西大学大学院博士前期課程修了。専門は日本近世近代文化史・大阪画壇。芦屋市立美術博物館学芸課長を経て大阪商業大学公共学部教授・同商業史博物館主席学芸員。学位 博士(文化交渉学)

企画担当博覧会

「阪神間モダニズム」「モダニズムを生きる女性」「伊勢物語と芦屋」「浪花慕情-菅橋彦とその世界-」など

著書

共著書『モダニズム出版社の光芒』、『モダン道頓堀探検』、『古地図で見る阪神間の地名』など

特定非営利活動法人淡路大磯アート山を創る会

アート山大石可久也美術館

〒656-2301 兵庫県淡路市楠本2159 tel. 0799-74-5565